

第1646回例会 (令和4年4月15日)

本日のプログラム 会員増強全体会議 工藤一郎会員増強委員長

前例会の記録 (第1645回 令和4年4月8日)

- ・会員数 40名
- ・出席者 33名 ・出席率 86・84% (出席免除者出席0名)
- ・欠席者 5名 池田周二・三宅達夫・山本大介・三島大尚・高橋剛吉の諸君
- ・出席免除者 2名 光井 伸・奥野千秋君

3月25日メーキャップ後の出席率 84・62%→87・18%に補正

3月6日IM登録、山本茂雅君

- ・ゲスト 枝廣 大智様 (崇興寺副住職) ・ビジター なし
- ・会長報告 本日は、国際ロータリー創立117年と45日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立35年と116日に当たります。

4月7日の山陽新聞へ、吉岡会員が社長の笠岡グランドホテルへ心肺停止男性を適切救命したとして感謝状贈呈の記事が載っておりました。また、同じ紙面へ春の交通安全市民運動推進大会の記事と共に小林市長と共に横断幕を持った大嶋会員が掲載されておりました。笠岡市でのご活躍がクラブメンバーとして嬉しい限りです。定例理事会報告です。

①4月プログラムの一部変更を承認しました。②令和4年度カプトガニ保護啓発運動協力お願いの件は、クラブより高橋環境保全委員長始め4名の参加とする事で承認しました。

4月6日(水)、春の交通安全市民運動推進大会へ大嶋元義会員が参加されました。

4月7日(木)、会員増強委員会が開催されました。

・幹事報告 友末ガバナーエレクト事務所より、地区資金推進小委員会への委嘱状と承諾書へのご署名のお願いが参っております。

近隣クラブの例会変更のお知らせを、岡山南 新見の2RCより頂いております。

小林笠岡市長より、ウクライナへの緊急支援募金協力の依頼文が参っております。

会長宛に、笠岡市制施行70周年記念式典へのご案内状を頂いております。

日時：令和4年4月24日(日)10:00~15:00 場所：笠岡市民会館

悲眼院より、パーベキュー食材の提供に対するお礼状の手紙を子供たちより頂いております。

・委員会報告 荒川雑誌広報委員長よりロータリーの友の紹介。

・配布 週報 ロータリーの友

・食事 焼肉定食

◎スマイル

松田重雄君 枝廣さん本日の卓話宜しくお願い致します。工藤委員長楽しい委員会感謝します。

瀧野瑛木君 同上。カムカムエブリバディが終わってしまい、少しさみしいです。

岡原 稔君 枝廣様本日は卓話を宜しくお願い致します。工藤委員長ありがとうございました。

河田恭志君 枝廣大智様本日の卓話宜しくお願い致します。

吉岡孝恭君 笠岡消防署より人命救助の表彰を会社が受けました。

赤瀬 健君 会員増強委員会にやくう里庄店を使って頂きありがとうございました。

福嶋啓祐君 息子が川崎医大を辞し一緒に働く事になりました。(本年4月から)

工藤一郎君 昨夜の会員増強委員会に全員参加して頂き楽しい委員会になりました。また高田さんには送って頂いてありがとうございました。

棕梨孝章君 枝廣様本日はありがとうございます。

山本雅夫・佐々木敦・恵谷龍二君 早退させていただきます。

山本大介君 申し訳ありません。欠席させていただきます。

スマイル 22,000円

●会員一口卓話 浄土真宗本願寺派明石山崇興寺 副住職 枝廣大智様

「お経について」～お経とは何か？なぜお経を読むのか？(浄土真宗の立場を中心に)

お経とは仏教を開かれた釈尊の説法を、釈尊が亡くなったのちに弟子がまとめたものである。

当初お経は、口伝で伝えられていたが釈尊が亡くなって100年乃至200年後には、文字化された。

こうしてまとめられたものを古代インド人は「スートラ」と呼んだ。「スートラ」とは「たていと」と

いう意味であるため、今日「経」という言葉で表されている。この「経」には「真理を貫いて衆生を

救う教え」という意味がある。「真理を貫く」とは「いかなる時代」の「いかなる地域」の「いかなる

人々」に通じる教えであるということを示している。「衆生」とは全ての生命を指す。つまりは私の事

である。また「たていと」は「私の頭のとっぺんから足のつま先までを貫いて、私を支えてくれる教

え」ということも表している。

その「お経」をなぜ読むのかということであるが、一般的な受け止めと浄土真宗での受け止め方では

違いがある。

一般的には①「悟りを開くための修行の一環としてお経を読む」②「お経を読んで他に功德を回向する

(追善供養)」とされる。しかし浄土真宗ではこのような考えをしない。なぜなら、愚かで未熟で煩惱

に悩まされている者がお経を読んだところで、自らが悟りに近づくことも、ましてや他人を救うこと

もできないと考えるからである。

では浄土真宗ではなぜお経を読むのか？大きく2つ理由がある一つ目は「阿弥陀如来への御礼」であ

る。浄土真宗では「全ての人を極楽浄土に生まれさせると誓ってくださった阿弥陀如来の力によって

極楽浄土に生まれて悟りを開かせ頂く」と説く。ゆえにその阿弥陀如来への御礼としてお経を読むの

である。そして二つめは「お経をよんでお経の内容を聞くため」である。浄土真宗のお経には「阿弥

陀如来が私を極楽浄土に生まれさせるために、私を想い私を案じ、私のためにご苦労くださった」と

説かれている。その阿弥陀如来が私にかけてくださっているお慈悲を聞かせていただくために、お経

を読むのである

次週以降のプログラム&行事予定

4/15(金) 第2回被選理事会 13:30~ 事務所

4/22(金) 第4例会 ゲスト卓話 坂本 貴之様 (笠岡青年会議所理事長)

4/24(日) 地区協議会 10:30~17:15 ベルフォーレ津山

4/27(水) 35周年高齢者合同委員会 19:00~ 星乃珈琲 (食事18:30~)